

主な内容

- 特集——健康フェス2017
速報——私立医科大学・医学部職員野球大会で
本学職員野球部が初の連覇を達成!!
トピックス——オープンキャンパス2017が行われました
フリーページ——すこやかスポット医学講座No.81
「さんそ」って、クスリ?それともドク?

表紙写真：矢巾町煙山のひまわり畑にて
(2017.8.23 医用画像情報センター撮影)



特集

9月9日(土)
9:30~16:30
矢巾キャンパス



創立120周年
記念イベント

健康フェス2017



本年4月に迎えた本学創立120周年の記念事業の一環として、「健康」をテーマに本学が有する「医の力」、「知の力」を発信し、県民の健康への関心を高めるとともに、地域とのつながりを深めることを目的とした一般市民参加型・体験型イベント「健康フェス」を昨年・一昨年に引き続き今年も開催することといたしました。

本号では9月9日(土)に迫る「健康フェス2017」のイベント内容についてご紹介します。

開催要項

日時 — 平成29年9月9日(土) 9:30~16:30

会場 — 矢巾キャンパス

対象 — 一般市民(参加無料) ※教職員の皆様もご家族をお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい!

テーマ — ~いきいき 元気 健康家族~

後援 — 岩手県、盛岡市、矢巾町、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市医師会、紫波郡医師会、盛岡市歯科医師会、岩手医科大学医師会、岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、盛岡薬剤師会、岩手県臨床衛生検査技師会、岩手県診療放射線技師会、岩手県看護協会、岩手県栄養士会、岩手県調理師会、岩手県理学療法士会、岩手県歯科衛生士会、岩手県歯科技工士会、岩手日報社、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、マ・シェリ、大人のための情報紙シニアズ、岩手県医療機器販売業協会、こずかたサービス

健康 コーナー

公開講座 東講義実習棟2階(東2C)

10:00~10:40 **健康家族になるための「運動のすゝめ」**

リハビリテーション医学科 教授 西村行秀

11:00~11:40 **噛み合せと呼吸の関係 —不正咬合と睡眠時無呼吸—**

口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 教授 佐藤和朗

13:00~13:40 **日常の中の家族の力**

共通基盤看護学講座 教授 三浦まゆみ

14:00~14:40 **健康を創りだす力**

人間科学科心理学・行動科学分野 准教授 相澤文恵

15:00~15:40 **薬の正しい使い方**

地域医療薬学講座 教授 高橋寛

「これって、ほんと!!」～乳がんについて正しい知識を得よう～

10:30～11:00・午後適宜 東講義実習棟 1階 (ラーニングcommons)

マンモグラフィーとエコー装置のデモンストレーション

担当：中央放射線部

11:00～11:40 東講義実習棟 1階 (東1A)

講演会 「これってほんと!!」～乳がんについて正しい知識を得よう～

講師：外科学講座 助教 小松英明

9:30～16:00 東講義実習棟 1階 (ラーニングcommons)

展示 (触診モデル、Q & A 集等)

相談コーナー (乳がん専門医・看護認定看護師、医療ソーシャルワーカー)

ミニクイズ

担当：腫瘍センター、医療福祉相談室



乳がん展示・相談コーナー

9:30～16:30 多目的ラウンジ

ヘルスチェック・健康相談

血管年齢・骨密度・肺年齢、保健師による相談コーナー

担当：中央臨床検査部・健康管理センター



ヘルスチェック・健康相談

9:30～16:30 キャンパスモール

口腔内環境をチェックしよう

むし歯・歯周病リスク・口腔清潔度に関する7項目を同時測定

担当：歯学部



歯科衛生士による口内観察

9:30～16:00 キャンパスモール

お口の中を見てもませんか

CCD カメラによる口腔内観察、展示、販売ブース

担当：歯科衛生部・歯科売店

9:30～16:00 西講義実習棟2階(西2B)

血糖値測定・おくすり相談

血糖値 (HbA1c 値) の測定、薬剤師による相談コーナー等

担当：薬学部・薬剤部



救命救急・応急手当講習

9:30～16:30 キャンパスモール

あなたの力が命を救う

「ファーストエイドこんな時どうする?緊急・応急処置を知ろう!」

一般市民を対象とした基本的な応急手当(ファーストエイド)講習会

担当：看護部

9:30～16:30 キャンパスモール

あなたもできる救命処置 子どもから大人まで

一次救命処置の体験

担当：看護部

10:00～16:00 西講義実習棟2階(西2A実習室)

あなたの手洗い大丈夫? - プロが教える正しい手洗い-

ブラックライト使用による手洗いの洗い残しのチェック

担当：看護部



洗い残しのチェック

9:30～16:00 キャンパスモール

保育指導

沐浴体験、胎児心音聴取、妊娠期・産褥期相談コーナー

担当：看護部

①10:00～②11:30～③13:30～

④14:00～⑤14:30～⑥15:30～

西講義実習棟2階(西2A講義室)

やってみよう！認知症予防体操～思い出の歌に合わせて体操～

準備体操、足ぶみしながらしりとり、認知症のリスクと予防法など

担当：看護部



沐浴体験、保育指導

13:30～15:00 東講義実習棟1階(東1B)

認知症サポーター養成講座

一般市民を対象とした認知症の方を見守るサポーター(応援者)の養成講座

担当：薬学部、講師：(公社)認知症の人と家族の会 蛇石陽氏



認知症予防体操

11:00～16:30 東講義実習棟2階(ゼミナール室)

高齢者における認知症とそのケア

衛生検査部によるポスター展示・発表

担当：学友会



衛生検査部による発表・展示

9:30～16:30 東講義実習棟2階(ゼミナール室)

実はあなたも!? 高血圧・・・

薬学研究会によるポスター展示、塩分量チェック&体験など

担当：学友会

9:30～16:30 東講義実習棟2階(東2E)

フェアトレードでインドの女性の生活・健康支援！

インドの人々により手作りされた織物・ネックレス等のアクセサリをIMU-IFMSAが販売

担当：学友会

いきいき

コーナー

美味しく減塩 キャンパスモール

11:00～14:00 減塩料理の試食

9:30～16:30 減塩ミニクイズ、塩分量展示、栄養士による相談コーナー

担当：栄養部



減塩料理試食

10:00～11:00 食堂棟1階(ラーニングcommons)

図書館イベント Library+「どんなお仕事？ 看護師」

講師：看護部 副看護部長 千葉香

定員：30名(要申込・当日参加もOK)



Library+

9:30～16:30 食堂棟2階

図書館一般開放

展示(貴重書他)、オリジナルグッズ配布(ブックカバー他)

9:30～16:30 キャンパスモール(ラーニングcommons)

ホワイトボードおえかきコーナー

子供向けおえかきコーナーの設置

担当：図書館事務室

9:30～16:30 キャンパスモール

KOBE 発 生きがい支援協働事業「まけないぞう」
「一本のタオル運動」で集められたタオルを被災者がぞうの形をした壁掛けタオルに変えて販売。被災地のコミュニティ・生きがいづくりの支援

担当：被災地 NGO 協働センター



10:30～14:00 食堂棟 1 階

オリジナル学食体験

健康フェス限定のオリジナルメニューの販売

担当：学生食堂



フェス限定オリジナル学食体験

わくわくコーナー

10:30～なくなり次第終了 キャンパスモール

松ぼっくりアイス販売

栗石の手づくりアイスクリーム牧舎「松ぼっくり」のジェラート販売！

担当：学生会



ドクターヘリ基地見学

① 10:00～ ② 10:40～ ③ 11:20～ ④ 13:20～
⑤ 14:00～ ⑥ 14:40～ ⑦ 15:20～

ドクターヘリ基地見学 ドクターヘリ基地

県民の生命と健康を守る希望の翼、ドクターヘリ、基地内の見学

※各開始 10 分前に矢巾キャンパス正面からシャトルバスを運行します。

出勤の際は基地見学のみとなります。

担当：救急センター



技工部による歯科材料体験

① 10:00～12:00 ② 13:00～15:30 駐車場

ブリヂストン免震体験車

大地震の脅威から生命と財産を守る免震技術を体験

担当：関連企業

10:00～15:00 西講義実習棟 2 階 (西 2C)

キッズファーマシー

園児から小学生を対象とした調剤体験

担当：薬学部、県薬剤師会



矢巾町農産物の産直販売

① 9:30～12:30 ② 13:00～16:00 キャンパスモール

ビーズクラフト

貝殻とUVレジンを用いた制作体験

担当：歯科技工部



おくすり体験

9:30～16:30 キャンパス内各所

スタンプラリー

スタンプを 5 個集めると景品をプレゼント

10:00～16:00 体育館（アリーナ）

こども縁日

水ヨーヨー釣り、射的、ストラックアウト、キックターゲット
担当：学友会



こども縁日

9:30～16:00 キャンパスガーデン

ケータリングカフェ

出店：コーヒー焙煎 風光舎（雫石町）・カフェ Warakution（青山）



ケータリングカフェ

9:00～16:30 キャンパスロータリー

産直販売・郷土料理

矢巾町農産物・六次産業品の販売、出店：みち草の驛（葛巻町）

元気コーナー

15:00～16:30 体育館3階（柔剣道場）

初心者でも楽しめるヨガ体験

※要予約・当日参加OK、動きやすい服装（更衣室あり）
講師：神経科学講座 教授 駒野宏人、学友会（ヨガ同好会）



ヨガ体験

9:30～16:00 東講義実習棟1階ラウンジ

かつてないハンドマッサージ

～地域住民とのリアルなつながりを目指して～

一般市民を対象としたハンドマッサージの無料体験
担当：看護学部

POLA化粧品
試供品プレゼント



体力測定

① 10:00～12:00

② 13:00～15:00 体育館1階（体育実習室）

体力測定 あなたの体力水準を調べてみませんか？

敏捷性、筋力、調整力

担当：教養教育センター

① 10:00～② 10:30～③ 11:00～

④ 13:00～⑤ 13:30～⑥ 14:00～ 薬用植物園

薬用植物園案内

東洋医学研究会の学生による薬用植物園案内

担当：薬学部・学友会



薬用植物園案内

9:30～16:30 東講義実習棟1階（ラーニングcommons）

体の中をのぞいてみよう！

CT画像の3D展示

担当：中央放射線部

ステージイベント

<キャンパスモール 北側特設ステージ>

10:00 ~ 10:30

パフォーマンスショー

担当：学友会（パフォーマンス同好会）



10:30 ~ 11:30

鉄神ガンライザーがやってくる！①

握手会・撮影会・じゃんけん大会 景品プレゼント

11:30 ~ 12:00

健康〇×クイズ 2017

※一般の方を対象としております 景品プレゼント

担当：学友会



12:30 ~ 13:30

人生漫談～笑う力は生きる力～

講師：日本笑い学会 秋田県人会長 人星亨喜楽 師匠



13:30 ~ 14:00

さんさ踊り

担当：学友会（さんさ踊り部）

14:00 ~ 14:30

バトントワリングショー

担当：学友会（バトントワリング同好会）

14:30 ~ 15:30

鉄神ガンライザーがやってくる！②

握手会・撮影会・じゃんけん大会 景品プレゼント



15:30 ~ 16:00

吹奏楽

担当：学友会（吹奏楽サークル）

<キャンパスモール北側 屋外特設ステージ(雨天時:屋内特設ステージ)>

12:00 ~ 12:30

もちまき大会

ガンライザーも参加予定



この他、矢巾新附属病院モデルルーム展示、大学グッズの展示販売、歴史展示、進学相談コーナーなどもあります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。





速報

第39回私立医科大学・医学部職員野球大会で 本学職員野球部が初の**連覇**を達成！！



平成29年7月27日(木)、28日(金)の2日間にわたり、埼玉県の大宮けんぼグラウンドにおいて、第39回私立医科大学・医学部職員野球大会が開催されました。この大会は、スポーツを通じた加盟大学の相互理解と親善による協力体制の強化及び健康増進と事務能率の向上を目的として開催されています。

本学は昨年、6年ぶり6回目の優勝を果たしており、今大会は本学初の連覇がかかる大会となりました。一回戦はシードのため二回戦からの出場となり、相手は昨年接戦を演じた日本大学医学部。今年も終盤まで接戦となり、4回裏に勝ち越した本学が8対5で勝利を収めました。翌日の準決勝は好投手を擁する杏林大学医学部との対戦となりましたが、初回から打線が繋がり一挙7点を挙げた本学が11対1で勝利を収めました。悲願の連覇まで後1勝となり迎えた決勝の相手は強豪の獨協医科大学。3年連続同カードの対戦(これまで1勝1敗)となり両校とも負けられない戦いとなりましたが、激しい点の取り合いを制した本学が6対5で勝利し初の連覇を達成しました。

今大会を通じて、大学相互間の親善理解を果たすとともに、改めて「岩手医科大学ここにあり！」と全国に知らしめることが出来ました。この結果に満足することなく、今度は3連覇に向けて努力してまいりますので、引き続きのご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今大会への出場に対し、関係各位からご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。

(文責：野球部監督 藤原友昭)



表彰式で賞状と優勝カップを受け取る
藤原監督(左)と千葉主将(右)

試合結果

二回戦	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
日本大学医学部	2	0	0	3	0						5
岩手医科大学	1	3	0	4	X						8

※時間切れにより5回で終了

準決勝	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
岩手医科大学	7	0	0	0	0	4					11
杏林大学医学部	0	0	0	0	0	1					1

※時間切れにより6回で終了

決勝	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
獨協医科大学	2	0	1	0	0	1	1				5
岩手医科大学	3	0	1	0	0	2	X				6

出場メンバー

- 藤原 友昭 (学務部研究助成課)
- 佐々木 寛人 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 千葉 大寛 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 松田 俊彦 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 吉田 博貴 (企画部企画調整課)
- 花坂 智人 (生命科学研究技術支援センター)
- 成田 和也 (中央臨床検査部)
- 鈴木 雄大 (いわて東北メディカル・メガバンク事務局)
- 田村 学 (病院事務部医事課)
- 米澤 元基 (企画部創立120周年記念事業事務局)
- 山形 周平 (企画部企画調整課)
- 堀川 琢磨 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 菅原 崇行 (学務部矢巾キャンパス教務課)
- 畠山 泰成 (病院事務部医事課)



感染対策講習会が行われました

感染対策講習会が、7月4日(火)から11回(録画映像による開催を含む)にわたり歯学部4階講堂で行われ、総勢約2,000名の職員が参加しました。

講習会では、感染症コンサルタントでサクラ精機株式会社学術顧問の青木眞先生(写真)を講師に迎えて「結核とその周辺」と題した講演が行われました。

参加者は、結核の病態や診断の難しさ、結核が伝播する仕組みや抗菌薬について理解を深めました。



マツモトキヨシ様による東日本大震災津波復興支援奨学金授与式が行われました

7月22日(土)、矢巾キャンパス東研究棟1階会議室において、(株)マツモトキヨシホールディングス様による本学薬学部学生への東日本大震災復興支援及び地域に貢献できる優秀な薬剤師を育成することを目的とした奨学金の授与式が行われました。

授与式では、(株)マツモトキヨシホールディングス取締役管理本部長の小部眞吾様より、薬学部5年泉倫子さん他3名の学生に奨学金が授与された後、奨学生としての決意表明が述べられました。



左より、名取泰博薬学部長、泉倫子さん、梅澤七海さん、鷹觜彩香さん、渡邊智穂さん、小部眞吾様

オープンキャンパス2017が行われました

7月29日(土)・30日(日)の両日、矢巾キャンパスでオープンキャンパス2017が開催され、岩手県内をはじめ全国各地から高校生とその保護者など約1,100名が参加しました。



当日は、祖父江学長による大学紹介や入学を希望する学部に分かれてのミニ講義や体験実習のほか、在学生とのフリートーク、教員による進学相談、ドクターヘリ基地の見学、学食の無料体験など盛りだくさんの企画が用意され好評を博しました。

参加した学生らは、大学生活に夢や希望を膨らませていた様子で、将来の進路を決めるための有意義な機会となったようです。



在学生とのフリートーク



ドクターヘリ基地の見学

第40回盛岡さんさ踊りに参加しました

世界一の太鼓パレードと称される「第40回盛岡さんさ踊り」が8月1日（火）から4日間にわたり開催され、本学は初日のパレードに参加しました。

パレード開始前には、本学附属病院外来玄関前で出陣式が行われ、患者さんやご家族、大学関係者らに演舞を披露し

ました。パレードでは、小川理事長を筆頭に約200名の職員・学生が、中央通りの約1キロの区間を練り歩きながら、盛岡さんさ踊り第3番の「栄夜差踊り（えいやさおどり）」を披露し、沿道に詰め掛けた観客からの歓声に応えました。

なお、本学の出場は、今年で連続36回目となります。



本学「さんさ踊り部」、盛岡さんさ踊りパレードに初出場で優秀賞！ 歯学部4年の松本登子さん（さんさ踊り部副部長）は「ミスさんさ踊り」として大活躍！

8月1日（火）の盛岡さんさ踊り初日、本学の学生70名が、息の合った華麗で力強い演舞を披露して、見事に『優秀賞』を獲得しました。パレードへの参加は、「さんさ踊り部」としては初めて。創立120周年、看護学部開設の今年に相応しく、医歯薬看護4学部の学生が揃ったパレードデビューでの受賞となりました。

「さんさ踊り部」は薬学部一期生が中心となり2009年に同好会としてスタート。2010年6月の医大祭のステージで初踊りを披露しました。その後、皆さまからの温かい支援を

いただき、本学のパレードに主力メンバーが参加するようになり、卒業謝恩会などでも経験を積んできました。幸い医・歯学部の部員も順調に増え、希望部員全員で踊りたいという思いから「さんさ踊り部」としてのパレード参加を検討しはじめ、看護学部が加わった本年、お許しいただいた次第です。初参加での優秀賞受賞は、皆さまからのご支援のお陰とっております。

本学さんさ踊り部は、今後さらに精進を続けて参りますので、なお一層のご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

（さんさ踊り部顧問一同）



～さんさ踊り部部长 小嶋 実花さんから～

岩手医科大学さんさ踊り部は今年から学生団体として参加させて頂きました。医学部、歯学部、薬学部、看護学部4学部の学生がパレードに向けて太鼓の音を響かせてきました。部員全員、さんさ踊りが大好きです。パレードを見に来てくださった方にこの気持ちが伝わるよう、元気よく楽しく踊ることを胸に日々練習してきました。講義や実習、試験など学生としてやるべきことが多い中で4学部の学生が集まり、踊りを揃えていくことは簡単なことではありませんでした。初めてだらけの中で、顧問の先生方や卒業生の方々、先輩、後輩などたくさんの方々の協力があったからこそ学生団体としての出場が決まり、さらに優秀賞という大変ありがたい賞を頂くことができました。パレードに出場するにあたって目標として掲げていた1つでもあるので、受賞を聞いた時、嬉しい気持ちと信じられない気持ちでいっぱいになりました。また1年後に盛岡さんさ踊りがありますが、継続して受賞していけるよう、見に来てくださる方々に笑顔になって頂けるよう日々練習していきます。また、文化祭や各種学会発表など様々な舞台にも今回の経験を生か

し、たくさんの方に「さんさ大好き!楽しい!」ということ伝えていきたいと考えております。最後になりますが、顧問の先生方をはじめ、ご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。

【さんさ踊り部 平成29年度幹事】

部長：薬学部4年 小嶋 実花
副部長：歯学部4年 松本 登子、医学部3年 佐藤 泰人、土田 秀成
会 計：医学部4年 林 里奈、薬学部3年 後藤 志帆



～「ミスさんさ踊り」に選ばれた 松本 登子^{とうこ}さんから～

大学1年生の時にさんさ踊り部に入りさんさ踊りと出会いました。それから4年目となる今年はミスさんさとして活動できることをとても嬉しく光栄に思います。大好きなさんさ踊りの楽しさをより多くの人に伝えていきたいです。

※「ミスさんさ踊り」は毎年一般公募され、一次審査(面接)で10名程度まで絞り込み、一般公開される最終審査で5名が選出されます。机上研修や2か月間にわたる踊りの練習を経たのち、1年間国内外の各種行催事等で、盛岡さんさ踊りと岩手県・盛岡市の観光PRを行っています。



第38回市民公開講座が行われました

今年で38回目を迎える市民公開講座(テーマ:健康を科学する～医療の最前線から日常生活まで～)が、8月1日(火)から3日間にわたり矢巾キャンパス大堀記念講堂で行われました。

この市民公開講座は、大学開放活動の一環として毎年行われているもので、5講座が開講され、延べ471名の一般市民の方々が受講しました。受講者は熱心に聴講し、貴重な学習の機会となったようです。

開講講座

『これからの健康を考える』

人間科学科体育学分野 小山 薫 准教授

『子どものむし歯、大人のむし歯』

口腔医学講座予防歯科学分野 岸 光男 教授

『いわての農林水産物の効能と機能性食品としての可能性ーイサダとリンゴー』

分子細胞薬理学講座 弘瀬 雅教 教授

『これからの心臓、血管外科治療』

心臓血管外科科学講座 金 一 教授

『豊かな子育てにつながる地域づくりーアロマザリングの視点から考えるー』

成育看護学講座 蛭崎 奈津子 教授



新任教授の紹介

平成29年7月1日就任

生理学講座統合生理学分野

中隄 克己 (なかじま かつみ)

昭和39年9月21日生
北海道鷹栖町出身



研究テーマ

・神経生理学、運動制御（とくに大脳による姿勢と歩行の制御）

主な著書論文

- ・ニホンザルの四足歩行と二足歩行における下肢関節の生体工学的拘束様式の比較 (Progressive Brain Research, 143: 183-190, 2004)
- ・ニホンザルの二足歩行と一次運動野：重力との戦いの足跡 (バイオメカニズム学会誌, 38(3): 175-180, 2014)
- ・ヒトの四足歩行中と二足歩行中における補足運動野の血流動態応答の比較 (Neural Plasticity, 6168245, 2016)

趣味

スポーツ、音楽鑑賞

教職員への自己PR

大学卒業後の5年間は内科学の分野に身を置きましたが、生理学研究所への赴任以降は尊敬すべき多くの先輩に導かれながら、姿勢と歩行の制御にかかわる高次脳機能の基礎的研究を行って参りました。今後は、可能性に満ち溢れる後進に背中を見せる立場となったことを自覚し、教育・研究に気概と覚悟を持って挑む所存です。分野の垣根に捕われない学内共同研究を展開したいと考えておりますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

経歴

平成元年 旭川医科大学医学部卒業
平成5年 同大学院生体情報調節系修了
室蘭日鋼記念病院糖尿病内科
岡崎国立共同研究機構生理学研究所 助手
平成6年 英国ロンドン大学神経学研究所 Senior Research Fellow
平成10年 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 助手 (復帰)
平成12年 総合研究大学院大学生命科学研究科 助手 (併任)
平成14年 近畿大学医学部生理学講座 講師
平成29年7月 現職

平成29年7月1日就任

情報薬科学講座

西谷 直之 (にしや なおゆき)

昭和46年7月27日生
埼玉県上尾市出身



研究テーマ

・がん分子標的薬への耐性と副作用克服、創薬標的分子の探索

主な著書論文

- ・ $\alpha 4$ integrin-paxillin-Arf-GAP複合体は、Rac活性化を運動細胞の先端に集中させる (Nature Cell Biology 2005; 7(4): 343-352)
- ・Slit2-Robo4シグナルは、Arf6活性を抑制することによって血管安定性を強化する (Nature Cell Biology 2009; 11(11): 1325-1331)
- ・ゼブラフィッシュを用いたケミカルサブレッサーの探索は、Wnt/ β -catenin経路に対する低分子阻害剤を提供する (Chemistry and Biology 2014; 21(4): 530-540)

趣味

料理、生物進化探訪、カヤック

教職員への自己PR

医薬品情報は、非臨床試験・臨床試験や市販後調査などから蓄積される学術情報です。情報薬科学講座は、薬学臨床と基礎科学つなぐ役割を果たします。日米の研究機関で積んだ基礎研究の経験を活かし、本学では臨床上の問題に科学の力で応える試みを続けています。科学的視点を備えた人材育成と研究活動を通して、本学および医療の発展に貢献できるよう努力する所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

経歴

平成6年3月 昭和大学薬学部卒業
平成8年3月 昭和大学大学院薬学研究科博士前期課程修了
平成8年4月 昭和大学薬学部 助手
平成13年3月 昭和大学博士 (薬学)
平成14年4月 スクリプス研究所(米国) 博士研究員
平成16年7月 カリフォルニア大学 サンディエゴ校 博士研究員
平成18年1月 同 Assistant Project Scientist
平成18年4月 理化学研究所 脳科学総合研究センター 基礎科学特別研究員
平成19年10月 岩手医科大学薬学部微生物薬品創薬学講座 講師
平成28年6月 同 情報薬科学講座 講師
平成29年1月 同 准教授
平成29年7月 現職

表彰の
荣誉

平井 みなみ 初期研修医が第159回日本消化器内視鏡学会東北支部例会において最優秀演題賞を受賞しました

この度、平成29年6月30日(金)に盛岡で開催された第159回日本消化器内視鏡学会東北支部例会“第15回プレナリーセッション「めざせ！消化器内視鏡専門医」”において、最優秀演題賞を受賞しました。演題は「特徴的な画像所見が得られたceliac病の1例」です。

今回は東北支部例会初の日本消化器病学会と日本消化器内視鏡学会との合同開催でした。そのような場で初めて発表し受賞できたことは、大きな励みになりました。

発表するにあたり、教授をはじめ御指導いただきました諸先生方、御協力いただきました皆様方に深謝申し上げます。

(文責：平井 みなみ)



シリーズ 職場めぐり

臨床遺伝学科

臨床遺伝学科は、遺伝カウンセリングを主とした遺伝に関する診療、教育、研究、および啓蒙活動を行う部門として、2011年に新設されました。スタッフは、臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラー、ゲノムメディカルリサーチコーディネーター（GMRC）などの遺伝医療の有資格者および担当看護師で構成されております。また2016年度からは医学部修士課程（遺伝カウンセリング学）が開設され、現在3名の大学院生が在籍しています。

本学の臨床・研究を遺伝医学の観点から支えていくと共に、臨床遺伝専門医制度研修施設および認定遺伝カウンセラー養成課程設置施設として遺伝カウンセリングマインドのある人材の育成を目標としています。また、地域医療の復興と次世代型医療体制の創出のため、いわて東北メディカル・メガバンク機構と共同で、自動家系図作成ソフト「f-tree」を中心としたFamily History Toolの開発や、

遺伝情報の回付に関連する事柄の精査・検討も行っています。

（講師 徳富 智明）



中5階・MFICU

中5階・MFICU（総合周産期母子医療センター）は、助産師47名、看護師7名、看護補助者1名で構成されています。また、私達をサポートしてくれるクラーク、搬送コーディネーター、病棟薬剤師が配置されています。糖尿病や精神疾患などの合併症をもつリスクの高い妊産婦が増加しており、県内外から患者さんの受け入れをしています。また、早産や死産、児に障害のある方もいます。患者さんが現状を理解して意思決定ができるよう支援し、安心・安全に出産・育児ができるよう専門性を活かした看護の提供を心がけています。さらに、核家族化や少子高齢化が進む中で、産後の育児手技の習得が困難な状況やサポート体制が不十分な場合もあります。そのため、外来やMSW（医療ソーシャルワーカー）とも連携しながら地域保健師と情報共有し、退院後の電話相談や産後検診時の乳房ケアなどの産後支援を行っており、不安な思いを聴きながら継続的に関わっています。

他にも、臨床遺伝科の検査および不妊治療やがん治療の女性患者も対象としています。母性看護を強みとして、女性のライフステージに合わせた援助に努めています。

（主任看護師 亀田 由希江）



創立120周年記念事業事務局 企画調整課

企画調整課は、創立60周年記念館10階にあり、企画係と法人・秘書係の二つの係で構成されています。企画係は主に学校法人の広報、理事会、評議員会、運営会議といった諸会議の運営、法人が主催する式典等の企画・運営、私立大学等経常費補助金の申請等を、法人・秘書係は理事長、学長の秘書や不動産の取得、処分、管理等を担当しております。また、同じフロアには、創立120周年の各種記念事業を推進する創立120周年記念事業事務局の他、岩手医科大学医師会事務局も置かれています。

企画調整課は、課長以下7名の事務員、創立120周年記念事業事務局は事務員1名に加え、企画調整課員3名が兼務体制で業務にあたっております。

本年4月20日には、教職員はじめ関係各位からのご支援、ご協力の下、創立120周年記念式典・祝賀会を厳粛且つ盛大に執り行うことができました。

皆様方には、この場をお借りして改めて御礼申し上げますとともに、当課もこれを機に本学創立の原点に今一度回歸し、大学の更なる発展に向けて課（室）員一丸となって取り組んでまいります。

（課長 山本 和博）



岩手医科大学募金状況報告

【創立120周年記念事業募金】

岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

今回は第17回目の御芳名紹介です。(平成29年5月1日～平成29年6月30日)

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

●法人・団体等（4件）

- <30,000,000> 株式会社 こすかたサービス（岩手県盛岡市）
- <御芳名のみ掲載> 医療法人 真彰会（岩手県盛岡市）
- 医療法人 長瀬内科胃腸科（福島県いわき市）
- 株式会社 ケアコム（東京都調布市）

(順不同、敬称略)

●個人（20件）

- <20,000,000> 志波 優（元職員）
- 佐々木 純（名誉教授） 高橋 寛（教職員） 長瀬 紀子（医39）
- <2,000,000> <御芳名のみ掲載> 長瀬 慶一郎（医36）
- 小川 彰（役員） 安住 倬（専15） 太田 美香子（父母）
- <1,000,000> 小林 長子（元職員） 石川 弘美（元職員）
- 塚原 智典（医51） 熊谷 亜希子（教職員） (順不同、敬称略)
- <500,000> 小笠原 幸三郎（歯2）
- 塚原 正典（医19）
- <100,000> 圭 陵 会
- 井関 時男（歯4） 在 学 生 ご 父 母
- 木村 靖和（医41） 役 員 ・ 名 誉 教 授
- 齊藤 慎二（教職員） 教 職 員
- 齊藤 英朗（歯26） 一 般
- 齊藤 恭佳（歯23） 法 人 ・ 団 体
- <20,000> 合 計
- 山田 舞美（一般）

区 分	申込件数	寄付金額（円）
圭 陵 会	561	407,195,089
在 学 生 ご 父 母	384	207,780,000
役 員 ・ 名 誉 教 授	63	83,810,000
教 職 員	135	20,777,000
一 般	55	25,710,000
法 人 ・ 団 体	172	615,417,000
合 計	1,370	1,360,689,089

(平成 29 年 6 月 30 日現在)



矢巾キャンパスの「中尊寺ハス」が開花しました

平泉の中尊寺から株分けされた奥州藤原氏ゆかりの中尊寺ハスが7月22日に開花しました。

ハスの花は、一般的に7月中旬から8月初旬頃に開花し、3昼夜開閉を繰り返し散るとされる短命の花で、早朝5時頃から咲き始め、昼すぎには花が閉じるといわれています。

中尊寺ハスは、1950年の藤原氏遺体学術調査で4代秀衡公の首桶から発見された種子を開花させたものです。本学では、同調査に際してX線撮影、画像診断を行った放射線科の足澤三之介教授が作成した画像パネルを中尊寺に奉納したことに対して、平成28年3月に中尊寺より贈られました。



理事会報告（6月定例—6月26日開催）

1. 教員の人事について

歯学部口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野 教授
森川 和政（現 九州歯科大学口腔機能発達学分野 病院講師）
（発令年月日 割愛の状況による）

薬学部情報薬科学講座 教授

西谷 直之（前 同講座 准教授）

薬学部構造生物薬学講座 准教授

阪本 泰光（前 同講座 助教）

（発令年月日 平成29年7月1日）

2. 平成30年度学納金等について

3. 岩手医科大学医療専門学校学納金減免規程及び岩手看護短期大学学納金減免規程の一部改正について

4. 医学部内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野の組織改編に伴う組織規程等の一部改正について

現在の内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野は、循環器部門、腎・高血圧部門、内分泌部門と

幅広い領域を担当しているため、専門領域の明確化を目的として、分野名称を現行の「心血管・腎・内分泌内科分野」から「腎・高血圧内科分野」に、「糖尿病・代謝内科分野」を「糖尿病・内分泌内科分野」に変更、診療科名称を「心血管・腎・内分泌内科」から「腎・高血圧内科」に、「糖尿病・代謝内科」から「糖尿病・内分泌内科」に変更することとして組織規程別表2、別表3-1の一部改正及び組織改編に伴う教育職員の定員に関する規程別表2の一部改正を承認

（施行年月日 平成30年4月1日）

5. 附属病院移転事業に係る設計監理業務委託の契約変更について

6. 病院附属施設（店舗棟・テナント棟）の建築計画について

《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰 佐藤真結美
影山 雄太 菊池 初子
松政 正俊 米澤 裕司
齋野 朝幸 熊谷 佑子
藤本 康之 安保 淳一
白石 博久 佐々木忠司
成田 欣弥 畠山 正充
遊田由希子 菅原 侑子
佐藤 仁 武藤千恵子
小坂 未来 高橋 慶
藤澤 美穂

編集後記

私事ですが、今年の健康診断の結果は久しぶりに要受診の項目が無く「やったー!」と思ったのも束の間、健診以外の部位の予期せぬ不調が新たに出現…。

スポーツや食欲の秋がすぐそこまで来ています。楽しく体を動かしたり美味しく食事をするために自分や家族の健康がちょっと気になる私やあなた（気にしない方も）、普段できない体験ができるかも、新しい発見があるかもしれない『健康フェス2017』には是非参加しましょう。

（編集委員 武藤 千恵子）

岩手医科大学報 第491号

発行年月日 平成29年8月31日

発行 学校法人岩手医科大学

編集委員長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111（内線7023）

FAX. 019-624-1231

E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp

スポット医学講座

脳神経外科学講座（高気圧環境医学科） 教授 別府 高明



「さんそ」って、クスリ？それともドク？

高気圧環境医学科は、高気圧酸素治療をおこなっています。高気圧酸素治療装置（通称タンク）の中に患者さんに入ってもらって、最大2.8気圧の圧力をかけながら酸素をフェイスマスクで吸入してもらう治療です。この圧力は海に18m潜水した水圧と同じぐらいです。この方法によって、通常の病室で酸素を吸入するよりも血液内に溶け込む酸素の濃度をあげることができます。ヒトは生きるために酸素が必要ですから、低酸素の状況となっている患者さんは大きな恩恵をうけることとなります。また、酸素は体内の細胞のミトコンドリアというところでエネルギーになりますが、1-2%の酸素は活性酸素になるとされています。高気圧酸素治療は、大量の酸素を体内に供給するわけですから、ものすごく大量の活性酸素が発生することになります。活性酸素には有名なスーパーオキシドやヒドロキシラジカルなどがあります。スーパーオキシドは、それ自体が強い酸化能力をもっていて、体外からのウイルスや細菌を殺す働きがありますので、高気圧酸素治療は局所の重症感染の患者さんには適した治療です。また、スーパーオキシドは放射線などで電離分離されるとペルオキシドに変化しますが、これは細胞のDNAを修復不能状態にする働きがあります。以前は、ガンの患者さんの放射線治療に高気圧酸素治療を併用する試みもありました。このように、酸素はクスリとして活躍してくれます。しかし実は、酸素はドクでもあるのです。大量の活性酸素は、強い酸化能力（酸化ストレス）によって体を傷めます。普通のヒトであればスーパーオキシドジスムターゼという抗酸化（酸化還元）酵素によってスーパーオキシドは解毒されます。ただ、もっと酸化能力の強いヒドロキシラジカルに対する酸化還元酵素はありません。ですから、巷でさかんに酸化ストレス予防のサプリメントがもてはやされています。

いずれにしても酸素はお酒と一緒にほどほどが良いのです。長時間にわたって過度の酸化ストレスを受けた患者さんは抗酸化能が枯渇しています。そんな場合、高気圧酸素治療は負の効果を与えてしまいます。例えば、火事や練炭で発症する一酸化炭素中毒の患者さんの脳障害は、一酸化炭素による低酸素とその後の再酸化による強い酸化ストレスが引き金になるとされています。一般には、一酸化炭素中毒患者には高気圧酸素治療が施行されます。しかし、先に述べましたように、高気圧酸素治療が酸化ストレスを増長させてしまっただけでは元も子もありません。当科では救急科と協力して、中等症以下の一酸化炭素中毒患者には高気圧酸素治療をあえて行わず酸化ストレスを予防する働きのあるラジカル除去剤を投与する方針をとっており、良好な治療成績を得ております。

当科は、ダンディな技師さん1名とやさしい看護師さん2名で運営しております。技師さんは「主」的存在で、この治療に精通しております。看護師両名は、物理や化学の問題も出題される難解な試験をパスしなければならない学会認定技師資格を持つほど勉強熱心です。ご興味のある方は、是非当科に足をお運びください。

